

子どものこころの発達教育研究センターによる教育研究事業



千葉大学子どものこころの発達教育研究センターセンター長 清水栄司

病院
こどものこころ診療部
精神神経科
小児科

1. 認知行動療法学部門
(認知行動療法の臨床研究)



子どもの不安症、摂食障害、うつ病、発達障害

学校
教育委員会
(地方自治体)

2. メンタルヘルス支援学部門
(学校現場での予防教育研究)

早期発見、
早期介入による
予防システム



Chiba IAPT (Increasing Access to Psychological Therapy)
エビデンスに基づいた心理学的治療「認知行動療法」を施術できる
高度に熟練した医療用セラピスト養成とセラピー提供システムの構築

3. 認知行動脳科学部門
(脳画像検査や認知機能検査による脳科学研究)



注視点計測による
社会性発達評価



4. 対人援助教育学部門
(教育学と医学の連携教育研究)

台湾、英国、オランダ、米国、スウェーデンなどの国際共同研究
国立精神・神経医療研究センター、広島大学、量子科学技術研究開発機構などの国内共同研究



センター設立の背景

少子化時代を迎えたわが国の社会が直面する最大の課題は、「子どものこころを健やかに育てる」ことです。しかしながら、子どものこころはきわめて深刻な危機にさらされ、ひずみが問題となっています。たとえば、青少年の犯罪、「いじめ」を苦にした自殺、自閉スペクトラム症や注意欠如・多動症等の発達障害を持つ子どもの増加などが挙げられます。とりわけ、子どものうつ病、不安症(パニック症、強迫症、社交不安症、心的外傷後ストレス障害など)、摂食障害の低年齢化が進み、子どものこころのひずみに対する介入に社会的な要請が高まっています。

脳科学、精神医学、心理学および教育学分野からの統合的観点での教育研究

一方で、子どものこころを扱う専門家は不足しています。問題を解決するには、脳科学、精神医学、心理学、教育学の統合的観点での教育研究が最も現実的と考えられます。

大学連携による教育研究基盤体制

2006年4月から文部科学省の支援のもと、「『子どものこころの発達研究センター』における教育研究事業」がスタートし、

大阪大学・金沢大学・浜松医科大学の連携により教育研究の基盤が整備されました。2010年4月からは千葉大学と福井大学も参加し、それぞれの特色を生かした5大学連携による教育研究基盤体制へと一層の充実が図られました。

科学的な日本の認知行動療法の開発と世界への普及

日本独自の観点から子どもに対する認知行動療法を開発し、大規模な臨床試験と医科学研究により、明確なエビデンスを世界に示すことで、日本のみならず世界への普及を目指します。

治療や予防で、活力ある日本社会の形成に貢献

開発した子どもの認知行動療法を実際に臨床現場での治療や学校現場での予防に用いて、「子どものこころを健やかに育てる」ことにより、活力ある日本社会の形成に貢献します。2016年10月には千葉大学医学部附属病院に認知行動療法センターを開設し、多職種連携によるエビデンスに基づく認知行動療法の提供を開始しました。

大阪大学大学院 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学・ 千葉大学・福井大学 連合小児発達学研究所 博士課程学生募集

こころの認知行動科学講座 (千葉大学)
博士課程 (後期3年のみ)

研 究 領 域	<p>認知行動療法学</p> <p>認知行動療法の医療機関での臨床実践とスキルについての教育指導</p> 
	<p>認知行動脳科学</p> <p>認知行動療法の脳科学的側面についての知識と測定技術に関する教育指導</p> 
	<p>メンタルヘルス支援学</p> <p>教育現場での早期発見、早期介入のための認知行動療法の活用法の教育指導</p> 

受験資格

修士課程を修了または修了見込みの方が対象で、特に次の方々の進学に最適な研究科です。

- 心理学系、教育学系、保健学・看護学系、社会福祉学系の修士課程を修了または修了見込みの方
- 子どものこころに関わる経験を持つ医師、学校教師、スクールカウンセラー、看護師、臨床心理士等の社会人の方

※修士課程修了者でなくても、出願資格審査に合格することで、受験資格が得られます。

出願資格審査 7月中旬(第1回)、11月中旬(第2回)
入学試験 9月中旬(第1回)、1月下旬(第2回)

詳細はHP (<http://www.ugscd.osaka-u.ac.jp>) をご覧ください。

Chiba CBT

千葉認知行動療法

子どもから大人までの来談者の方に「うつ・不安・強迫・パニック・過食のための認知行動療法プログラム」(1回約50分、14～20回程度)を提供しています。

- 相談日：月～金曜日(祝日・大学の休日はお休みです)
 - 相談時間：午前9時～午後4時
 - 場所：〒260-8670 千葉市中央区亥鼻 1-8-1
千葉大学医学部(亥鼻キャンパス)
本館2階 認知行動カウンセリング室
 - 料金：認知行動カウンセリング
10,000円/回 (税抜、別途消費税)
- ※相談・カウンセリングであり、医療保険は適用外です。
■申込方法：初回面接のお申し込みは HP (<https://www.cocoro.chiba-u.jp/chibacbt/>)にて承ります。

千葉認知行動療法士トレーニングコース

うつ病、不安症に対して、認知行動療法を実施することができるセラピスト(認知行動療法士)の養成と認定を、2010年4月より行っております。

※受講には連合大学院小児発達学研究所の大学院生になる必要があります。

詳細はHP (<https://www.cocoro.chiba-u.jp/chibacbt/researcher/iapt.html>) をご覧ください。

勇者の旅プログラム



子どもたちが不安の問題に自ら対処する方法を学ぶ全10回の予防教育プログラムです。

現在、研究協力校を募集しています。
<https://www.cocoro.chiba-u.jp/yuusha>



千葉大学 子どものこころの 発達教育研究センター

Research Center for Child Mental Development
Chiba University

子どもから大人までの幅広い発達段階の人間のこころと脳に関する教育研究と高度な専門職の養成を進めていきます。考え方(認知)、行動、感情、注意などの悪循環による問題を解決していく認知行動療法を推進します。

千葉大学 こころのeラーニング



eラーニングコンテンツを利用して認知行動療法をもとにした心理教育や質問紙調査を行っています。

詳細は HP (<https://www.e.cocoro.chiba-u.jp/>) をご覧ください。

臨床試験ご協力をお願い

現在、下記の研究に参加していただける方を募集しています。

- 強迫症、不安症、うつ病、摂食障害、慢性疼痛の認知行動療法
 - MRI 脳画像の研究
 - テレビ電話で受けられる認知行動療法(摂食障害、パニック症、不眠症、子どもの強迫症)
 - 自閉スペクトラム症の子どもと保護者の認知行動療法
 - 引きこもりとネット依存の方の保護者の認知行動療法
- 応募資格は HP (<https://www.cocoro.chiba-u.jp/recruit/>) をご確認ください。

交通案内

千葉大学亥鼻キャンパス



JR 千葉駅からバスをご利用の場合：

東口バスターミナル7番乗り場から京成バス「大学病院」行または「南矢作」行に乗車し、「薬学部前」で下車してください。千葉駅からの所要時間は約15分です。

千葉大学 子どものこころの発達教育研究センター

〒260-8670 千葉市中央区亥鼻 1-8-1

TEL：043-226-2975

FAX：043-226-8588

E-mail：chibarccmd@ML.chiba-u.jp

HP：https://www.cocoro.chiba-u.jp

2020.4.1



CHIBA UNIVERSITY